



平成 29 年 5 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 29 年 4 月度 月次受注残高等についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり平成 29 年 4 月度の月次受注残高と生産能力についてを開示いたします。

記

1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	482	68.8%	7.2%	250.3%
F P D 分野	211	30.1%	21.9%	14.3%
その他分野	7	1.1%	19.2%	△34.6%
合計	701	100.0%	11.3%	109.7%

2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	H28. 5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
半導体分野	181	167	194	223	276	266
F P D 分野	173	140	126	117	104	119
その他分野	12	8	7	14	14	7
合計	367	316	328	355	395	393

区分	11 月	12 月	H29. 1 月	2 月	3 月	4 月
半導体分野	292	320	330	353	450	482
F P D 分野	144	155	155	158	173	211
その他分野	6	6	6	7	6	7
合計	443	481	492	518	629	701

3. 月次受注残高の概況

平成 29 年 4 月末の受注残高は、半導体分野においては、出荷検収が高水準に推移した上で受注も拡大し、対前月増減率は 7.2%増、対前年同月増減率では 250.3%増の 482 百万円となりました。F P D 分野においても、出荷検収と受注は高水準に推移し、対前月増減率は 21.9%増、対前年同月増減率では 14.3%増の 211 百万円となりました。その他分野においては、おもだった動きはなく、対前年同月増減率では 34.6%減の 7 百万円となりました。これらの結果、平成 29 年 4 月末の受注残高は、対前月増減率 11.3%増、対前年同月増減率 109.7%増の 701 百万円となりました。

今後の見通しは、半導体分野では、市場環境が好調を維持する見通しのなかで、当社もしばらくは高水準な受注が続く見通しです。F P D 分野では、特に第 10.5 世代大型パネル向けの需要が拡大する見通しです。

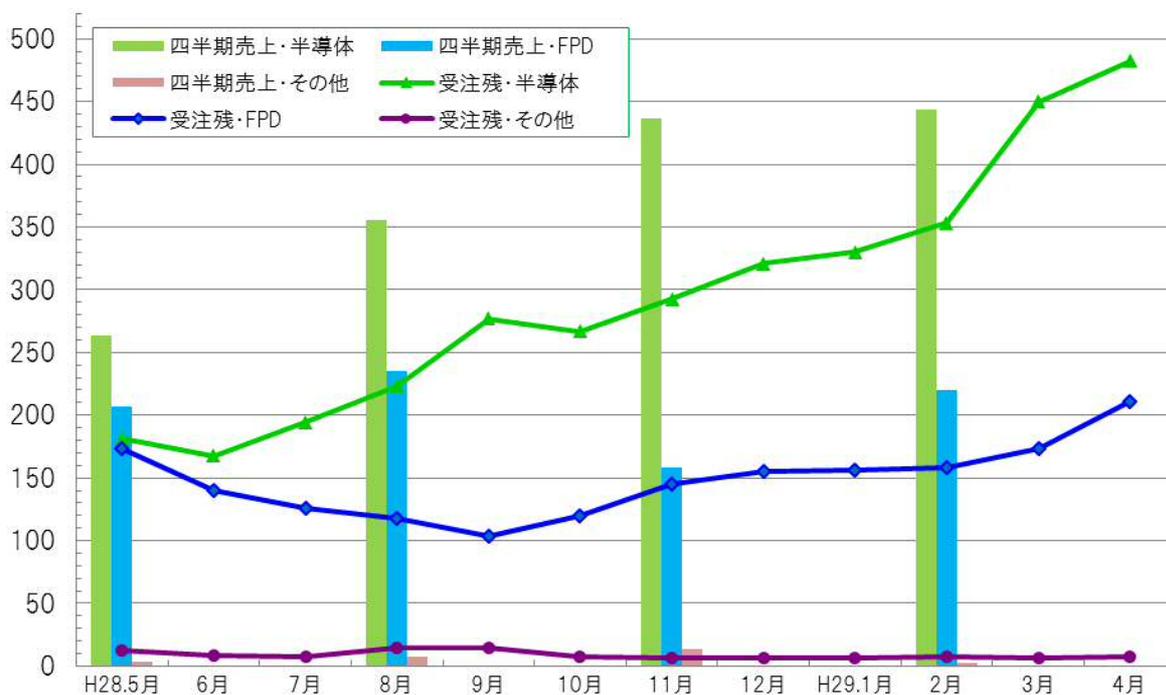
4. 生産能力について

当社は、半導体分野の急激な需要増加に対応するために、当期の設備投資計画を、当初の約 4 億円から 7 億円近くまで増加させる計画へと上積みしております。その結果、当社の半導体および F P D 分野向けの生産能力（販売価格換算）は、受注内容により多少増減しますが、協力企業を含み、前期末時点の月産 2 億円程度から足元では月産 2.6 億円程度まで増加しております。さらに、現在の投資計画が一段落する来期第 1 四半期には月産 3 億円程度まで増加する予定です。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)

(百万円)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。